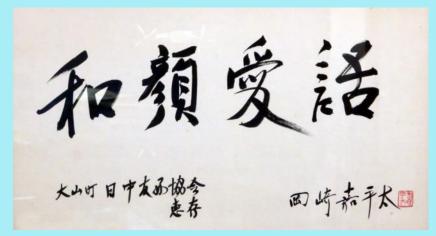
岡崎嘉平太記念館

Vol. 29

だより

がいちばん悪いとたびたび訓戒されたものです。だから何とか 用を落とし、友人を失い、身を亡ぼした者は歴史上でも多い 日暮れて道遠しということです。 でよく喧嘩をしたものです。母はそれを心配して、怒るな怒る 一怒らない」工夫と修練、やさしいようで案外むずかしいもの 著書『わが道』(一九六六(昭和四 一旦の怒りで、事を破り、 一)年)発行



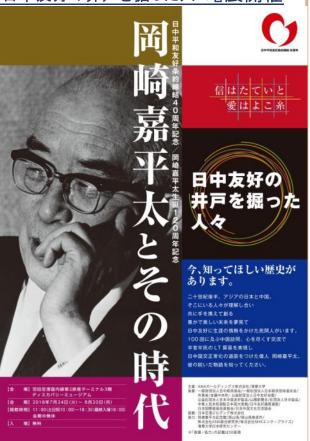
「和顔愛語」(わがんあいご)

昭和57年9月5日書 「和顔愛語」とは仏教の言葉で、「大無量壽経」(仏教経典の 一つ)の中にある言葉。 「和顔」とは、柔和なにこやかな笑顔 のことで寛容の精神を表し、「愛語」とは、やさしく相手を 思いやる慈しみの言葉、という意。親しみやすく温かい 態度のこと。

東京羽田空港にて『岡崎嘉平太とその時代-日中友好の井戸を掘った人々』展開催

平成30年7月24日(火)から8月20日(月)まで東京 羽田空港国内線第2旅客ターミナル3階「ディスカバ リーミュージアム」にて、ANAホールディングス(株)と 中国・精華大学主催による展覧会『岡崎嘉平太とそ の時代一日中友好の井戸を掘った人々』が開催さ れます。これは昨年が岡崎嘉平太生誕120周年で あったことと今年が日中平和友好条約締結40周年 であることを記念して企画された特別展です。当館





.崎嘉平太氏遺墨紹

第12回 嘉平太が愛したふるさと岡山写真展開催

嘉平太氏が愛したふるさと岡山のよさを伝えたいという思いで、毎年公募による写真展を開催しています。 今回の応募数は181点でした。4月16日(月)から6月18日(月)までは岡崎嘉平太記念館で、7月17日 (火)から7月22日(日)までは、岡山県天神山文化プラザ(岡山市)にて全ての作品を展示しました。 あわせて3414人の来場者がありました。

3月25日(日)に、長瀬正己先生(山陽新聞社写真映像部)、森山知己先

生(日本画家)、勝野(岡崎嘉平太記念館館長)で厳正な審査をしました。入賞者及び作品は以下の通りです(敬称略)。



【最優秀賞】 吉田 昌康「勇壮」



【優秀賞】 神崎 由子「黄昏刻」



【優秀賞】 小野 利公 「命(水と光)」



岡崎嘉平太記念館会場にて

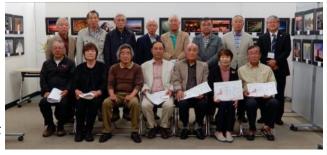


岡山県天神山文化プラザ会場にて

【審查員特別賞】三谷原 篤、小橋 勝利、岩本 光子 【入選】臼井 寛、安田 豊治、、奥田 勝、芝 次昇、 小原 丘士、米澤 尚汰、黒瀬 邦彦 光畑 雅之、伊丹 弘吏、長尾 進

表彰式での長瀬正己審査員による講評

応募作品全体としては「全体的なレベルアップには目を みはるものがある。このように岡山県のすばらしい風景が 集まる写真展もそうないのではないか、風景もバラエ ティーに富んでいる。人物作品も多い印象で好ましい」と のことでした。また最優秀賞の作品については「なかなか



5月13日(日)の表彰式にて 長瀬審査委員(前列左から三人目)と受賞者の皆様

撮りにくい場面である。構図もだんじり全体でなく、片方の神輿を自然光でクローズアップし、躍動感溢れる状況と、宵の祭りの雰囲気が上手く出せていて、非常に上手い作品である」、優秀賞については「『黄昏刻』は良い夕日に恵まれ、雨上がりのクリアな情景がよく撮れている。人物を中央に置いているが、光を味方につけて、一瞬の一番良いシャッターチャンスで撮っている。この透明感やすっきり感は珍しい。良い材料に恵まれた作品でもある。『命(水と光)』については日本画をおもわせる雰囲気のある作品。バックからの光を見方につけて、スローシャッターで撮っている。グリーン系のトーンでまとめて上品で繊細な感じと、スカッとした空気感、クリアさをつきつめたような作品である」との講評でした。

平成29年度 吉備中央町中学生国際交流研修団報告会開催 平成30年1月21日(日)

吉備中央町出身の岡崎嘉平太氏と中国淮安市出身の周恩来総理、二人への敬愛を縁に両自治体

が友好提携協定を結び、双方の中学生がホームステイなどの相 互交流を続けています。昨年は町内の中学生が淮安を訪れました。同研修団のメンバー8名に淮安市での研修報告をしていただ きました。また、岡山大学大学院社会文化科学研究科東アジア

国際協力・教育研究センターの土屋洋 先生に、報告会の感想や、日頃留学生 に接しておられる立場から広くご自身 のご経験等をお話いただき、当日は 約50名の出席がありました(吉備中央町 国際化推進協会共催)。





左:中学生の報告 右:土屋先生のお話

岡崎嘉平太国際奨学財団第28期生来町 平成30年6月15日(金)

岡崎嘉平太国際奨学財団の第28期生5名と昨年 交通傷害により来館出来なかった第27期生の2名 が来町来館されました。岡崎嘉平太国際奨学財 団は、嘉平太氏の遺志"アジア諸国の人づくり

大和山山頂「望郷の碑」の前で

分野、国々で活躍しています。

を支援し、相 互理解と国際 交流を推進し、 世界平和と発展 に寄与するこ と"を継承する ために、ANAが中 心となり

1990

(平成2)年設立、以後、毎年アジア諸国 から日本留学を希望する優秀な青年を日本 に招き、大学院修士課程の学費を負担、さ らに奨学金を支給する等の支援を行ってお り、卒業生は100名を超え、様々な

嘉平太氏の母校 大和小学校での交流会



記念館来館風景



大和山山頂で植樹





平成29年度 吉備中央町図画展

平成30年1月13日(土)から22日(月)まで県の児童生徒 絵画展町審査会(小学生)及び赤磐ブロック審査会(中学 生)で佳作以上の賞を受賞した、町内の児童・生徒及び 幼稚園児の優れた作品を展示しました。





第10回 嘉平太が愛したふる里の子ども作品展

2月23日(金)から3月4日(日)まで吉備中央町内全小学 校の主に6年生の作品を一堂に展示しました。町内10校 から、87点の作品が寄せられ、小学校最後の思い出に制 作した絵手紙や木彫のアルバム、版画や陶芸等力作の 数々を展示しました。





茅野さんと藤井さんの 細川流盆石展開催

「嘉あちゃんの部屋」にて1月6日(土)~31日(水)

吉備中央町にお住まいの茅野 智江子さんと藤井順子さんが制 作された「盆石」を展示しまし た。盆石とはお盆の上に石や砂 で山水等の風景を描いたもので



入っておられました。

す。砂とは思えない表現の数々に来場者の皆さんも見

森の宝石「ブッポウソウ」写真展・川柳展 開催 3月14日(水)~4月6日(金)

ブッポウソウ吉備中央町会が一昨年開催した ブッポウソウ(絶滅危惧種の鳥)

のフォトコンテストに全国から 応募があった120点の写真と川柳 の入選作品24句を企画展示室と 嘉ぁちゃんの部屋にて展示。美 しいブッポウソウの姿が紹介さ れていました。





※「嘉ぁちゃんの部屋」は主に町内の団体及び住民など によるコミュニティづくりや地域振興などの活動の利用に より、学習の場、憩いの場、ふれいあいの場、作品発 表の場を提供、支援するための施設でどなたでもお気 軽にご利用できます。



授業に来てくれました 一行きました







吉備中央町内の小学校の児童や先生 方が来館。学芸員による紙芝居や、 館内説明、クイズなどで学習しまし た。当館では郷土の誇りである岡崎 氏について子供達にしっかり伝えて いきたいと出前講座も含めて教育普 及に努めています。

今年1月25日(木)には岡山県郷土文化財団 評議員の河田啓子元館長が岡山県立岡山朝 日高等学校で、3月8日(木)には町立御北小 学校で岡崎氏に関する授業を行いました。 また町内公会堂での「サロン」でも岡崎氏の

生涯を紹介しました。

わくわく科学塾を開催

6月22日(金)に「わくわく 科学ランド」の藤本忠男先 生にご協力いただき科学 塾を開催、町内全校の小 学生が集まり様々な実験 や遊びを体験しました。



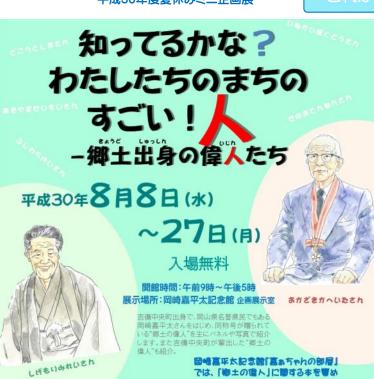
6月30日(土)に、名古屋大学大学院の土屋洋先生の引率で、岡山大学大学院社会文化科学研究科東アジア国際協力・教育研究センターの留学生約30名が地域文化特別講義の授業で来館。当館での研修と町内の岡崎氏ゆかりの地を巡りました。



平成30年度夏休みミニ企画展

これからの催し

平成30年度秋の特別企画展





9月22日(±)

-12月27日(木)

岡崎嘉平太記念館 企画展示室 入館無料

開館時間:午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日:毎週火曜日

主催:(公財)岡山県郷土文化財団 岡崎嘉平太記念館

全日室は、当時の朝日新聞社社長の美土路昌一氏等が中心になり設立、昭和27年(1962) 民間航空会社日本へリコブター輸送梯としてスターとした。同時嘉平太氏は親安のあった美土路氏に経者面での助けを締われ、割社長として設立に参加し次日自社長に飲任、以後社長60年、相談役を22年間つとか会日空の基盤を作りますの航空業界の発展に大名貢献にた。この度の企画景では設立から参画した経緯や社員と信頼関係を結びつつ、企業とはいかに社会へ貢献すべるかを開い続けた事に着日、経済界、主に航空業界で活躍した側面部所であ。まな景示品は、全日空出員が5層られた真、全日空間連の遺高、航空業界が贈られた真、これに関連した写真等。また全日空内に設立された同時高・単大国際総合財政会のなってある。 ―その軌跡と今に生きる精神岡崎嘉平太とANA(全日空)



編集·発行:岡崎嘉平太記念館

ます。更はみの宿襲にも役立ててね!

期間中ワークショップ 『大きなかへいたさんとみれいさんをみんなで完成させよう!』 みんなでシールをはってつなぎ合わせると… なんといたりの大きな絵がうかびあがるよ!

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川 4860-6 きびプラザ内

TEL 0866-56-9033 FAX 0866-56-9066 HP http://www.okazaki-kaheita.jp Eメール okmh@okazaki-kaheita.jp

『岡崎嘉平太さんとの思い出』を募集します

皆様から岡崎嘉平太氏との思い出を募集いたします。お寄せいただいたエピソードや写真の一部は当館が主催する行事等で紹介させていただくこともあります。メールの方は上記「お問い合わせ」フォームから、またFAX、郵便等でもお受けいたします。是非ご協力下さい。